

再処理施設高レベル廃液ガラス固化廃ガス
処理設備排風機の一時停止について
(経過報告)

1. 事象発生日時

平成20年5月14日(水) 18時24分

2. 事象発生場所

再処理工場 高レベル廃液ガラス固化建屋

3. 事象の状況

平成20年5月14日18時24分、高レベル廃液ガラス固化建屋の高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備(以下、「ガラス固化廃ガス処理設備」という。)の排風機(4台設置2台運転)の保守に伴う切替え操作を行ったところ、2系統ある排風機が全台停止状態になった。

この時、ガラス溶融炉が一時的に固化セルに対して正圧になったが、ガラス溶融炉を設置している固化セル換気設備の排風機は異常なく運転しており、固化セル内の負圧は維持されていた。安全確認の後、18時49分にB系統のガラス固化廃ガス処理設備の排風機を手動で再起動し、通常状態に復旧した。

事象発生から排風機の再起動までの間、固化セルの負圧に異常はなく、汚染が拡大する恐れのない状態を維持していた。

また、ダストモニタの監視及びスミヤ測定により管理区域内に汚染のないことを確認し、主排気筒モニタの指示値にも異常がないことから、本事象による環境への影響がないことを確認している。

4. 原因

第1排風機入口圧力高インターロックの設定値が適切でなかったことが、誤動作が発生した原因と考えられる。

詳細について、現在調査中である。

5. 復旧日時

5月14日18時49分にB系統のガラス固化廃ガス処理設備の排風機を再起動し、通常状態に復旧した。

6. 再発防止対策

調査結果を踏まえ、検討した上で改めて報告する。